



辛島 輝治
Teruji Karashima
Piano



岸邊 百百雄
Momoo Kishibe
Violin



河野 文昭
Fumiaki Kono
Cello

Harmonic Concert

第34回ハーモニックコンサート

2017年**5月27日**(土)

開場 16時30分 開演 17時00分

会場 / **安曇野市豊科公民館**

入場券 / **¥1,000**

全席自由 / 先着600名様まで

主催: **株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ**

共催: 一般財団法人 ハーモニック伊藤財団

後援: 安曇野市教育委員会・HDS調和会

※駐車場に限りがあります。
公共交通機関をご利用ください。

[チケット販売] ◎場所 安曇野市役所学校教育課、ハーモニック・ドライブ・システムズ
◎期間 コンサート前日の17:00まで。但し、チケットに余裕がある場合は当日15時からホール正面玄関で販売します。
◎時間 平日の9:00~17:00まで

お問い合わせ ▶ 穂高工場 TEL.0263-83-6800(事務局:総務部 山口) <http://www.hds.co.jp/>



穂高工場 / 〒399-8305 安曇野市穂高牧1856-1 TEL.0263-83-6800(代)
<http://www.hds.co.jp/>



辛島 輝治 Teruji Karashima



1959年に東京藝術大学を卒業し、田村宏氏に師事。61年東京にてデビューリサイタル。バリトン歌手ゲルハルト・ヒツシュ氏、中山悌一氏、畑中良輔氏らの伴奏で共演。64年旧西ドイツ政府給費留学生として渡独、ベルリン国立音楽大学に留学。ゲルハルト・ブッヘルト氏に師事。帰国後68年に東京にて6回にわたりシューベルトのピアノ曲連続演奏会を行う。80年イタリアのボジターノにてウイヘルム・ケンプ氏主宰のベートーヴェンチクルスに参加。78年シューベルト没後150年記念リサイタル、86年シューベルトチクルス、97年シューベルト生誕200年記念「リサイタルと室内楽の夕べ」などを開催。98年日本ショパン協会主催のリサイタル。2002年日本調律師協会主催のリサイタル。リサイタル活動と合わせてこれまでにヴァイオリニスト豊田耕児氏、

岸邊 百百雄 Momoo Kishibe



1938年東京生まれ。桐朋学園を経て、1963年、ウィーン国立音楽アカデミー（現ウィーン国立音楽大学）卒業。篠崎弘嗣、A.モグレフスキー、J.イスナール、F.サモヒル各氏に師事。第16回日本音楽コンクール、世界青年平和友好祭コンクール（1955年、ワルシャワ）入賞。1961年、ウィーン・ブラームスザールにおけるデビューリサイタルを成功させた後、ソリスト及び室内楽奏者として世界各地で活躍。ウィーン室内合奏（Die Wiener Solisten）創立メンバー、東京フィルハーモニー交響楽団、東京ゾリステン、ロッテルダム交響楽団、九州交響楽団のコンサートマスターを

河野 文昭 Fumiaki Kono



京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロスアンゼルスで、その後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G.ライター、A.ナヴァラの各氏に師事。1984年帰国後、独奏者として各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ねており、フィンランドの作曲家コッコネンの協奏曲、ルチアーノ・ベリオの「セクエンツァXIV」の日本初演も行った。室内楽演奏も活発で、1981年～93年の間、福岡モーツァルトアンサンブルのメンバーとして、ヴァイオリンの岸邊百百雄氏と弦楽四重奏の演奏を九州

Piano (ピアノ)

宗倫匡氏、黒沼ユリ子氏、チェリスト青木十郎氏、堤剛氏らと全国各地で共演。日本音楽コンクール、神奈川新聞音楽コンクール、国際アマチュアコンクールなどの審査員を務める。2004年に東京藝術大学を退官。2005年5月、2006年5月に東京文化会館にてシューベルトアーベントを開催。2006年春、初めてのCD「シューベルトのピアノソナタ」、2006年秋「シューベルトのピアノソナタII」、2009年秋CD「シューベルトの即興曲ほか」をリリース。2009年10月東京文化会館にてリサイタル。2011年11月 デビュー50周年記念演奏会を開催。2012年・2013年秋、東京藝術大学同声会神奈川支部会主催のレクチャーコンサートに出演。2014年1月喜寿記念演奏会。2016年6月デビュー55周年シューベルトリサイタル。現在、東京藝術大学名誉教授。

Violin (ヴァイオリン)

歴任。1975年、福岡モーツァルトアンサンブルを結成、モーツァルト、ベートーヴェンの弦楽四重奏全曲演奏を始めとし、活発な室内楽活動を行う。1987年、岸邊百百雄弦楽四重奏団を結成、近・現代作品を数多く演奏し、高い評価を得る。ゆふいん音楽祭初代音楽監督。第10回福岡市民文化賞、2008年、京都芸術祭特別賞受賞。1981年より、京都市立芸術大学教授として後進の指導に当たり、2003年退任。京都市立芸術大学名誉教授、相愛大学客員教授。京都市文化功労者。

Cello (チェロ)

各地で行う。現在、アンサンブルofトウキョウ、紀尾井ホール室内管弦楽団、AOI(静岡音楽館)・レジデンス・カルテット、岡山潔弦楽四重奏団などのメンバーとして、アンサンブルの分野でも、国内外に幅広く精力的な演奏活動を行っている。また93年～2003年、ゆふいん音楽祭音楽監督の他、各地の音楽祭、講習会の講師として参加。81年第50回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、90年京都音楽賞、92年大阪府文化祭賞、2004年京都府文化賞功労賞等を受賞。現在、東京藝術大学教授。

Franz Peter Schubert

フランツ・ペーター・シューベルト
(1797-1828)

ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 作品99 D.898

Piano Trio No.1 in B-flat major (B dur), D.898

- I. Allegro moderato
- II. Andante, un poco mosso
- III. Scherzo: Allegro
- IV. Rondo: Allegro vivace

— 休憩 —

Harmonic Concert

第34回ハーモニックコンサート

Program

ピアノ三重奏曲 第2番 変ホ長調 作品100 D.929

Piano Trio No.2 in E-flat major (Es-dur), D.929

- I. Allegro
- II. Andante con moto
- III. Scherzando, Allegro moderato
- IV. Allegro moderato